２０１８年度大学院研究科博士前期課程・修士課程入学試験問題

Ｎｏ．２

日　程	研　究　科	区　　分	試 験 科 目
Ａ日程	経済学研究科	一　　般 外国人留学生	小論文 （経済学に関する問題）

経済学に関する問題

問

下記の (1)～(3) より好きな２問を選び解答しなさい。

(1) 生涯を勤労期と退職期の二期間に分けたライフサイクルモデルを考え、下記の条件が成り立っているとする。

(i)　人々は両期とも必ず生き、勤労期と退職期は同じ長さである。
(ii)　勤労期の勤労所得は 8,000 万円、退職期の勤労所得は０である。
(iii) 遺産はない。
(iv)　年金制度は存在しない。
(v)　自分の生涯効用に対する重みは、勤労期と退職期の消費ともに同じである。
(vi)　利子率、時間選好率、インフレ率はゼロである。

(a) 税金が全くない時、勤労期の個人は退職期へ向けていくら貯蓄するか。

(b) 一方、勤労期の所得に 25%の税金が課されたとする。このとき、退職期への貯蓄額はいくらになるか。

(2) 労働市場について考える。

(a) 政府が最低賃金を決め、それが市場均衡賃金を上回っていたとする。この際に生じる問題をグラフを利用して説明しなさい。

(b) 上記 (a) のように政府が最低賃金を決めることは、社会厚生上望ましいか望ましくないか、その理由とともに述べなさい。

(3) 環境汚染など、外部不経済が発生する状況を考える。

(a) 外部不経済が生じている場合、競争市場で達成される供給量は社会的に最適な供給量とは異なる。競争市場で達成される供給量と社会的に最適な供給量の関係を簡潔に説明しなさい。必要に応じてグラフを利用しても構わない。

(b) 外部不経済によって生じる問題を解決するために政府が取りうる政策を一つ挙げ、その政策について説明しなさい。